

火災から住宅を守るために

# 住宅防火読本



江別市消防本部

住宅防火いのちを守る10のポイント



## 全国の状況

---

令和6年、火災による総死者数は1,436人、そのうち住宅火災による死者は970人（放火自殺者等を除く）でした。

そして、住宅火災による死者の4人に3人が高齢者となっています。

火災は、大事な命や家族、財産を一瞬にして奪います。この本を通して、火災時の対応や住宅防火の知識、対策を学んでいただければと思います。



## 江別市の状況

---



江別市では年間約30件～40件の火災が発生し、住宅火災は約10件～15件ほどです。

全国的に多い「こんろ」「ストーブ」「たばこ」「電気機器」からの出火が江別市でも同様に発生しています。

火災になった住宅の大半は住宅用火災警報器が未設置でした。

住宅用火災警報器が設置されていれば、早期発見により、火災の拡大を防ぎ被害を最小限に留めることができたはずです。

## 増加傾向にあるリチウムイオン バッテリーによる火災

---

近年モバイルバッテリーなど様々な電子機器に使用されているリチウムイオンバッテリーが原因の火災が増加しています。

落下したものや変形したものの使用はしないでください。

ゴミとして捨てる際は、危険ゴミとして出してください。





4つの習慣

- 01 寝たばこはしない
- 02 ストープの周りに燃えやすいものを置かない
- 03 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 04 コンセントはほこりを清掃し、  
不必要なプラグは抜く



6つの対策

- 01 出火防止
- 02 早期発見
- 03 延焼拡大防止
- 04 初期消火
- 05 早期避難
- 06 地域の助け合い

防火・防災物品

- 01 住宅用火災警報器の設置場所
- 02 感震ブレーカー
- 03 消火器の使い方
- 04 消火器の処分の仕方



# 01 寝たばこはしない



寝たばこは絶対にしない

住宅火災による、**死亡原因**の  
トップはたばこです。

たばこ火災では、くん焼火災  
と呼ばれるように、**炎が出る  
までに時間がかかる**ため、炎  
より早く煙が発生し、気づい  
たときには、周囲が見えなく  
なっています。

寝たばこ火災を  
防ぐ **3 カ条**

1. 布団で吸わない
2. 灰皿には水を入れる
3. 消えたかどうか 絶  
対確認



## 江別市における事例

布団の上にたばこが落ちたことに気付かないまま布団を押入れ  
にしまったため、3時間後に出火し、住宅が全焼した。



## 02 ストープの周りに 燃えやすいものを置かない



ストーブの周りは整理整頓

ストーブ火災は、洗濯物がストーブに落下したり、カーテンや布団が触れて起きています。

カーテンや布団などは防災性能を有するものを使用することで、火災の拡大を防止しましょう。

ストーブ火災を  
防ぐ **3カ条**

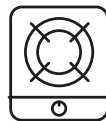
1. 燃えやすいものの近くで使用しない
2. 洗濯物の乾燥に使わない
3. 外出時や寝るときは火を消す



江別市における事例

ストーブの上のカーテンレールに洗濯物を干して外出していたところ、洗濯物がストーブに落下し、住宅を半焼した。

## 03 コンロを使うときは 火のそばを離れない



離れるときには消火

火災発生原因の第一位は  
コンロです

つい目を離してしまいがちなコンロですが、出火原因のトップです。調理は毎日行うため油断してしまいがちですが、注意が必要です。



コンロ火災を  
防ぐ 3 カ条

1. 離れるときは、火を消す
2. 周囲に燃えやすいものを置かない
3. 換気扇やグリルをいつもきれいに



江別市における事例

揚げ物をするため油を鍋に入れガスコンロを点火したが、調理後にガスコンロの火を消していなかったため、ぼや火災となった。

## 04 コンセントはホコリを清掃 unnecessary プラグは抜く



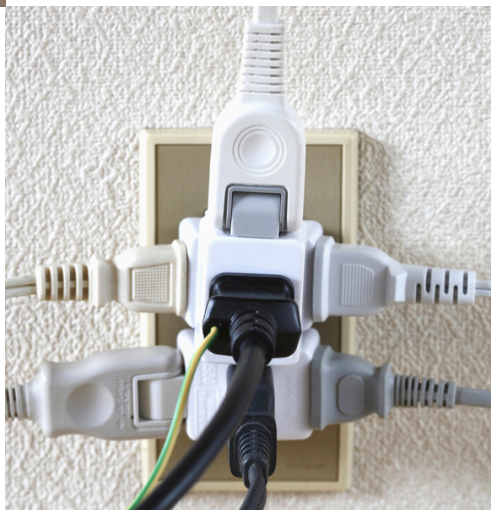
コンセント周りは定期的に清掃

コンセントにホコリが溜まっていると、**トラッキング現象**により火災になる可能性があります。

ホコリの確認と共に、コードが踏みつけられていないか、極端に折れ曲がっていないかも点検しましょう。

コンセント火災を  
防ぐ **5 カ条**

1. 定期的に清掃
2. たこ足配線をしない
3. コードを踏みつけない
4. コードを束ねて使わない
5. プラグを抜く時にコードを引っ張らない



コンセントに長年差し込まれたままになっていたプラグでトラッキング現象による放電が発生。付近のソファーに着火し拡大。

## 01 出火防止



火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロ等は**安全装置**の付いた機器を使用する

## 02 早期発見

火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、**10年を目安**に交換する



電気が切れていたり、機器不良だと音が鳴りません

## 03 延焼拡大防止



火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、**防炎品**を使用する



## 04 初期消火



火災を小さいうちに消すために、**消火器**等を設置し、使い方を確認しておく

## 05 早期避難

お年寄りや身体の不自由な人は、**避難経路**と**避難方法**を常に確保し、備えておく



## 06 地域の助け合い

防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

## 01 住宅用火災警報器の設置場所



住宅用火災警報器の設置場所

1. 台所
2. 寝室
3. 階段  
(上階に寝室があれば)

江別消防では設置支援制度もあります。



防火・防災物品

## 02 感震ブレーカー



地震による火災の過半数は電気が原因！



感震ブレーカーは震度5強相当の地震を感知して、電気を自動で遮断します。

分電盤に内蔵されているものもありますが、コンセントタイプや簡易タイプなど簡単に取付け可能なものもあります。

## 03 消火器の使い方



### 消火器の使い方

1 安全栓を抜く



2 火から1.5m～2m程離れ、  
ノズルを火元に向ける



3 煙等で見づらいですが、し  
っかり火元を狙う



point!!

片方の手で消火器の底を持ち、  
一方の手でレバーを握る！



防火・防災物品

## 04 消火器の処分の仕方



古い消火器は**破裂事故**の危険も！

古くなった消火器は、必要なときに使えなかったり、器具等の破損などで事故の原因になります。住宅用消火器の寿命は5年とされていますので、定期的に更新しましょう。

### 処分の照会先

・ 社団法人 北海道消防設備協会

TEL 011-205-5951

・ 株式会社 消火器リサイクル推進センター

TEL 03-5829-6773

・ 江別市リサイクル事業協同組合

TEL 011-385-7124

※エアゾール（スプレー）式の廃棄は「中身あり」の明示し、  
危険ゴミの日に出してください。



江別市消防本部予防課 作成

---

お問い合わせ

江別市消防本部	予防課	011-382-5430
江別市消防署	江別出張所	011-382-2075
江別市消防署	野幌出張所	011-382-3444
江別市消防署	大麻出張所	011-386-8333

